

大口径中望遠単焦点 L レンズ“RF85mm F1.4 L VCM”を発売 大きなボケ味と高画質が特長の開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズを拡充

キヤノンは、「EOS R SYSTEM」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、開放 F 値 1.4 による大きく美しいボケ味と画面全域での高画質を可能とする大口径中望遠単焦点レンズ“RF85mm F1.4 L VCM”を 2025 年 9 月 27 日に発売します。



RF85mm F1.4 L VCM



大きく美しいボケ味を生かした
ポートレート撮影が可能



画面全域での高画質

“RF85mm F1.4 L VCM”は、大口径 F1.4 と最新の光学設計により、大きく美しいボケ味と画面全域での高画質を生かした、印象的な表現が可能な単焦点 L レンズです。一般的に、焦点距離 85mm の単焦点レンズは、被写体に圧迫感を与えず適度な距離を保ちながら撮影ができるため、ポートレート撮影に適しているとされています。本レンズにより、開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズは超広角の 20mm から中望遠の 85mm までカバーできるようになりました。

■ 開放 F 値 1.4 を生かした大きく美しいボケ味と画面全域での高画質

開放 F 値 1.4 による大きく美しいボケ味と中望遠の 85mm の焦点距離を生かし、ポートレート撮影などのシーンにおいて、印象的な表現が可能です。「非球面レンズ」や「UD レンズ^{※1}」を効果的に配置した 10 群 14 枚の光学設計で諸収差を抑制し、「EF85mm F1.4L IS USM」（2017 年 11 月発売）を超える画面全域での高画質を達成しています。また、特殊コーティング技術「ASC（Air Sphere Coating）」により、画質劣化の原因となるフレア・ゴーストを低減しています。

■ 機動性に優れた小型・軽量設計とアイリスリング搭載などの高い操作性

質量約 636g、全長約 99.3mm の小型設計で、「EF85mm F1.4L IS USM」と比較して約 33%軽量化し、優れた機動性を発揮します。また、発売済みの開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズと全長・フロントフィルター径を共通にし、撮影現場での使い勝手の良さを追求しています。さらに、アイリスリング（絞りリング）を搭載し、主に動画撮影中の絞りのマニュアルコントロールが可能です。

■ VCM^{※2}の採用による優れたフォーカス機能

質量の大きいフォーカスレンズユニットの駆動に適した「VCM（ボイスコイルモーター）」によるリアフォーカス方式を採用し、優れたフォーカシングを可能にします。EOS R シリーズの「デュアルピクセル CMOS AF」との組み合わせにより、静止画撮影時には高速・高精度な AF が可能で、動画撮影時には静かで滑らかなピント合わせができます。また、動画撮影時のフォーカスブリージングを抑制する光学設計により、「EF85mm F1.4L IS USM」と比較して画角変化の少ない安定した構図での動画撮影を実現し、本格的な映像制作にも対応します。

※1 UD（Ultra low Dispersion=特殊低分散）ガラスを用いたレンズ。

※2 磁石のエネルギー（磁場）を媒体として、電気エネルギーを運動エネルギーに変換するアクチュエーター。駆動用マグネットが作る磁場の中をコイルが前後に動き、コイルが固定されたフォーカスレンズユニットをリニア駆動します。

製品名	希望小売価格	発売日
RF85mm F1.4 L VCM	オープン価格	2025年9月27日

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002 (直通)

〈“RF85mm F1.4 L VCM”の特長〉

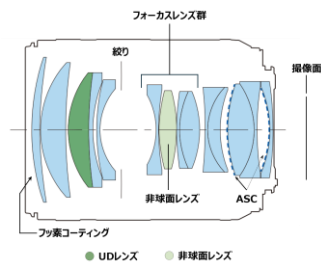
1) 開放 F 値 1.4 を生かした大きく美しいボケ味と画面全域での高画質

- 開放 F 値 1.4 による大きく美しいボケ味を生かし、被写体を際立たせた表現が可能。
- 大口径・ショートバックフォーカスの RF マウントのメリットを生かし、「非球面レンズ」と「UD レンズ」を効果的に配置した 10 群 14 枚の光学設計により、画面中心から周辺まで色にじみを抑えて色ズレを補正し、「EF85mm F1.4L IS USM」を超えた画面全域における高画質化を達成。
- レンズコーティング技術「ASC（Air Sphere Coating）」により、レンズ内の光の反射が撮影画像に入り込んでしまうフレア・ゴーストの発生を低減。
- 焦点距離 85mm という中望遠により、人物撮影において適度な距離感で自然な表情を捉える撮影が可能。
- 「EOS R1」（2024 年 11 月発売）との組み合わせでは、中央 8.0 段、周辺 7.0 段の手ブレ補正効果を発揮※。

※CIPA2024 規格、Yaw/Pitch/Roll 方向。段数は使用するカメラにより異なります。



大きなボケ味を生かした映像表現が可能



“RF85mm F1.4 L VCM”の光学構成図

2) 機動性に優れた小型・軽量設計とアイリスリング搭載などの高い操作性

- 大口径中望遠レンズでありながら、質量約 636g、全長約 99.3mm の小型・軽量設計により、優れた機動性を発揮。収納性が高く、持ち運びに好適。
- 「EF85mm F1.4L IS USM」と比較して約 33%軽量化。
- すでに発売している開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズと共通のフロントフィルター径 67mm、長さ約 99.3mm を採用。ジンバルを使った撮影でもレンズ交換時の調整が少なく済むなど、撮影現場の作業を効率化。
- アイリスリングを搭載し、主に動画撮影中の絞りのマニュアルコントロールが可能。CINEMA EOS SYSTEM のシネマレンズと回転方向を揃えているため、本格的な映像制作の現場でも違和感ない操作が可能。



機動性に優れた小型・軽量設計

3) VCM の採用による優れたフォーカス機能

- 質量の大きいフォーカスレンズユニットの駆動に適した「VCM（ボイスコイルモーター）」により、レンズ内部の後方レンズ群を移動させてピントを合わせるリアフォーカス方式を採用。
- 「EOS R1」や「EOS R5 Mark II」（2024年8月発売）に搭載されている「デュアルピクセル Intelligent AF」や EOS R シリーズに搭載されている「デュアルピクセル CMOS AF II」との組み合わせにより、高速・高精度な AF に加え、動画撮影時には静かで滑らかなピント合わせが可能。
- 動画撮影時のフォーカス操作に伴い画角変動が生じる「フォーカスブリージング」を徹底的に抑制する優れた光学設計により、画角変化の少ない安定した構図での動画撮影が可能。
- 最大撮影倍率 0.12 倍、最短撮影距離 0.75m の近接撮影が可能。



4) 防じん・防滴性能など高い信頼性を確保

- L レンズならではの耐久性・堅牢（けんろう）性を実現。マウント接合部、スイッチ、フォーカスリングなどに防じん・防滴構造^{*}を採用。
 - レンズ最前面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に取り除くことが可能。
- ^{*}防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、水滴やほこりの浸入を完全に防ぐものではありません。



防じん・防滴構造採用箇所
（図はイメージです。）

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

<https://personal.canon.jp/product/camera/rf/rf85-f14lv>

〈「ハイブリッドレンズ RF F1.4 L VCM シリーズ」の特集ページ〉

<https://personal.canon.jp/articles/interview/rff14lvcm-series>

〈ご参考〉

1) 「IBC2025」への出展

2025年9月12日（金）から15日（月）まで、オランダ・アムステルダムで開催される国際放送機器展「IBC2025」のキヤノンブースにおいて、本製品を展示する予定です。

2) 開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズのラインアップ

“RF85mm F1.4 L VCM”の投入により、開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズがさらに充実し、静止画と動画共に、画角による映像表現の違いを楽しんでいただけます。また、シリーズとして、サイズや操作性の統一と優れた描写性能を実現することで、快適な撮影が可能です。

開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズ (RF マウント) 計 5 本
RF20mm F1.4 L VCM (2025 年 4 月 発売)
RF24mm F1.4 L VCM (2024 年 12 月 発売)
RF35mm F1.4 L VCM (2024 年 7 月 発売)
RF50mm F1.4 L VCM (2024 年 12 月 発売)
RF85mm F1.4 L VCM (2025 年 9 月 27 日 発売 予定)

〈同コンセプトレンズの今後のラインアップ拡充について〉

ユーザーの幅広いニーズに応えるため、開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズにおけるさらなるラインアップの拡充を予定しています。

